

経営比較分析表（令和3年度決算）

福島県 西郷村

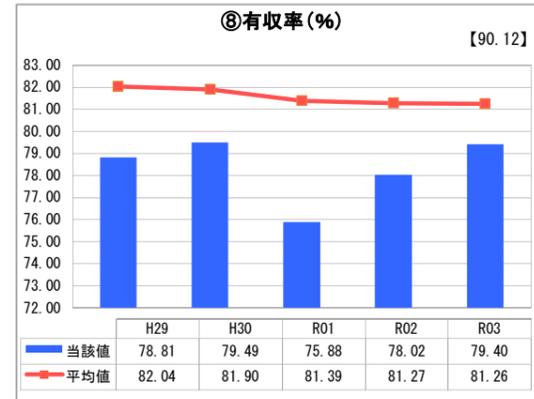
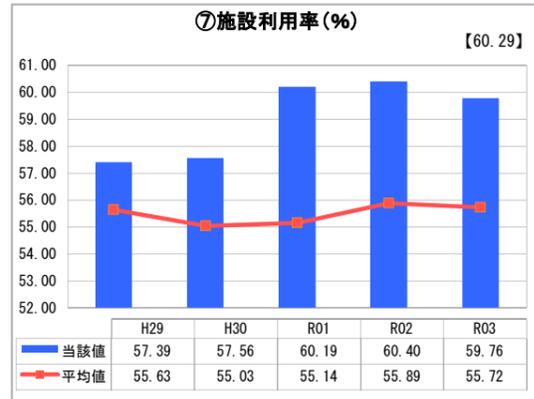
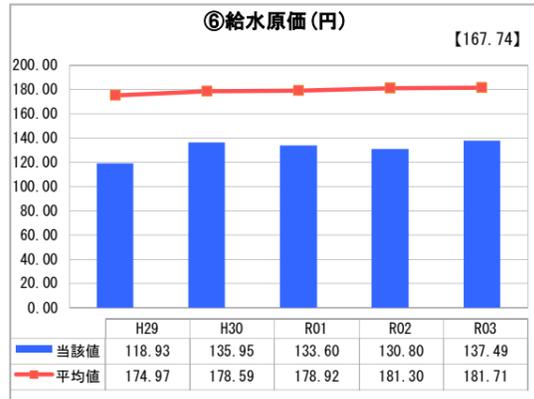
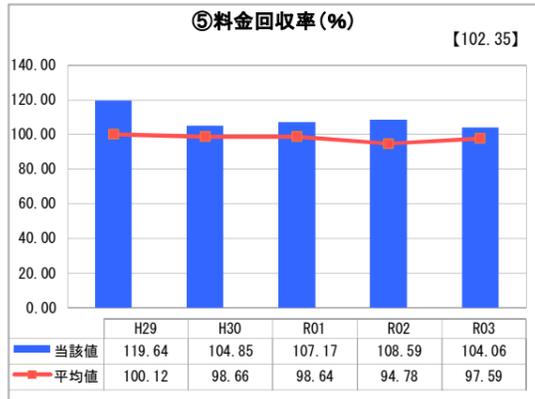
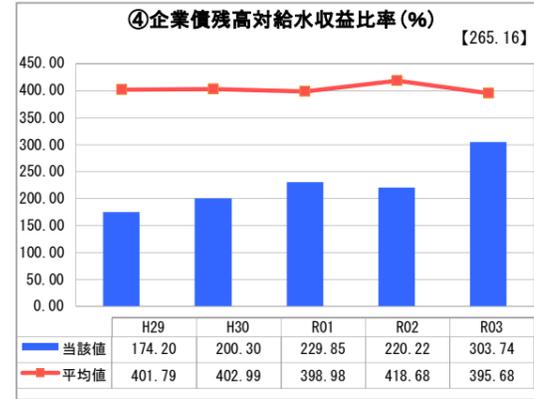
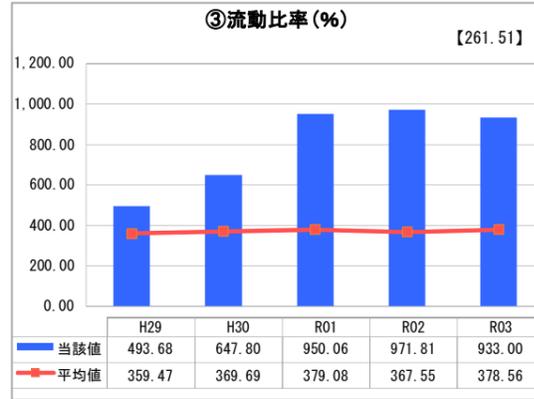
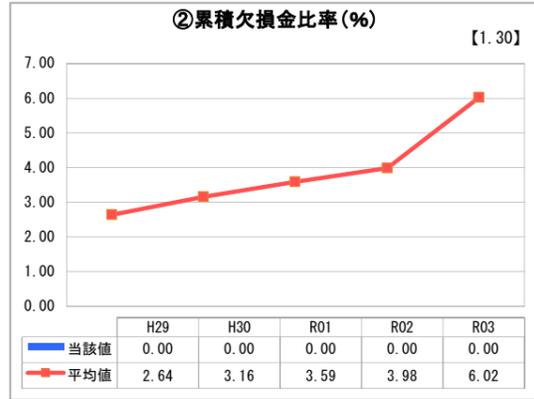
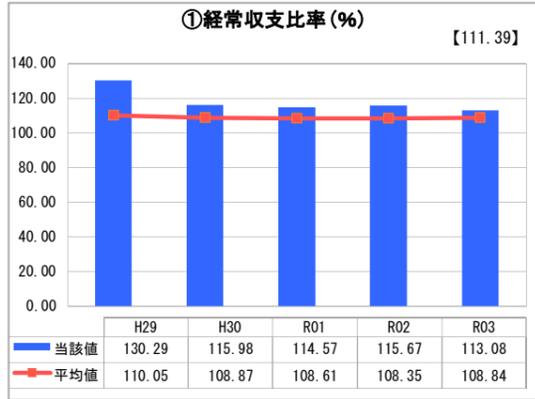
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.71	96.73	2,640	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,201	192.06	105.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,495	66.20	294.49

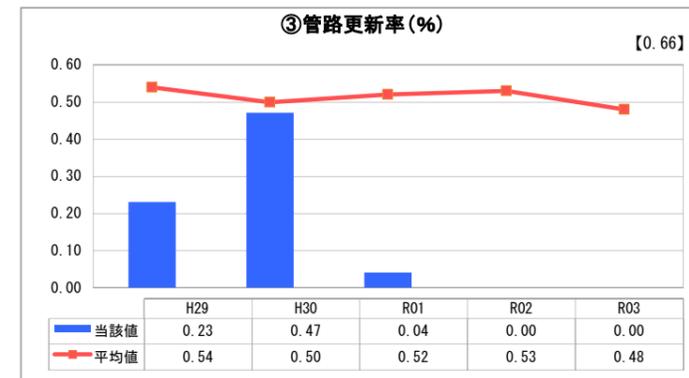
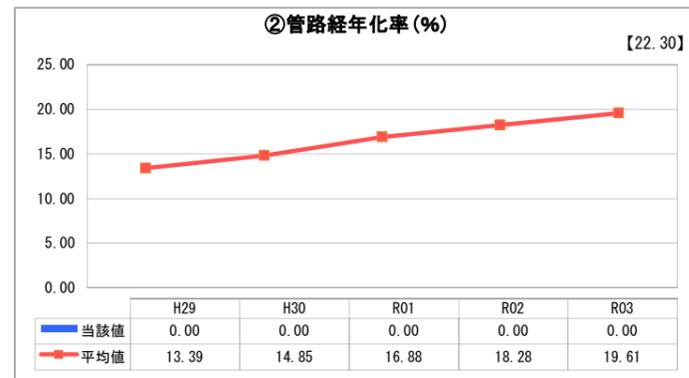
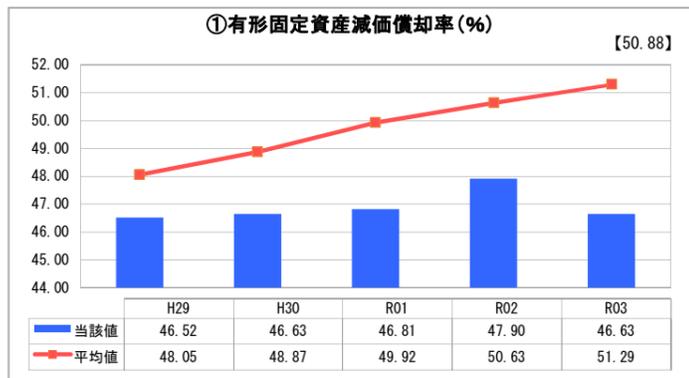
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っており、健全な経営活動を行っていると考えられる。今後は、人口減少時代を迎え、水道料金収入の減少が想定されることから営業活動に要する費用の抑制に努めたい。

② 累積欠損金の発生していない状況から全体的に健全な経営状況にあるといえる。

④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較して低い傾向にあるが、今後は施設整備、老朽管の更新が発生してくることが予想されるため適正な企業債の借入れに努める。

⑦ 施設利用率は、類似団体を上回っており、施設を効率的に活用している状況にあると考えられる。

⑧ 有収率は類似団体を下回っているため今後も引き続き早期の漏水箇所の発見、修繕に努めたい。

2. 老朽化の状況について

②、③現在のところ管路経年管は残存していないが更新間近な管路についてはアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

全体総括

経営の健全化、効率性については概ね良好であると考えられる。

老朽化については優先順位や投資規模等を考慮しつつ、施設の改良、更新を進め施設の効率性を高めながら将来の経営体制や投資のあり方について検討していく必要があると考えられる。

今後は経費削減と収入確保に努め、中長期的な視点の基、料金収入と企業債借入のバランスに配慮しながら財源を確保することで持続可能な経営を維持するよう努める。